



文楽

を知る・愉しむ

- 一、あらすじ
- 二、「傾城阿波の鳴門」 十郎兵衛住家の段
- 三、解説 「伊達娘恋緋鹿子」 火の見櫓の段

9月28日(日) イムズホール(イムズ9F) 午後2時/午後6時
※それぞれ開場は開演の30分前

●入場料(全席指定・大学生以下要証明)

〔前売〕一般2500円・学生1500円 〔当日〕一般3000円・学生2000円

主催：福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡文化財団 助成：福岡地域創造 協力：文楽協会・チャンネルシティ博多
 お問い合わせ：福岡市文化芸術振興財団 092(263)6265

関連企画「文楽いろはレクチャー」

9月27日(土) 午後3時/午後6時

会場：チャンネルシティ博多

B1Fサンプラザステージ

※入場無料 ※雨天中止

写真：青木信一



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

日本の
古典芸能
鑑賞講座

文楽を知る・愉しむ

二〇〇三年にユネスコの世界無形遺産宣言を受けた人形浄瑠璃「文楽」は、
「大夫（浄瑠璃）」、「三味線」、「人形」の三業が一体となって演ずる
日本が誇る伝統芸術です。
今回は「傾城阿波の鳴門」より十郎兵衛住家の段を鑑賞いただき、
さらに投票員による解説・実演を行います。
文楽を間近に見られるこの機会にぜひお越しください。

一、あらすじ 豊竹睦大夫

三、傾城阿波の鳴門

十郎兵衛住家の段

前 竹本 津駒大夫

鶴澤 清友

奥 竹本 文字久大夫

鶴澤 清二郎

(人形役割)

女房お弓 吉田 和生

巡礼おつる 吉田 玉翔

十郎兵衛 吉田 幸助

捕手 大せい

三、解説

伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段

豊竹 睦大夫

野澤 喜一郎

(人形役割)

お七 吉田 清三郎

望月太明蔵社中

●「傾城阿波の鳴門」あらすじ
手配中の盗賊、阿波十郎兵衛―実は妻お弓とともに、盗まれた主家の刀を探しています。刀も見つからない上、今日中に大金が必要というとき、詮議が身近に迫り、早く逃げるとの仲間の警告が…。そんな折、通りがかった願礼の子供が、六年前、三歳で阿波に残して来た娘だと気づくお弓。しかし、今、親と名乗っては、この子までどんな刑を受けるか…。顔も知らぬ親に早く巡り会いたいと泣く娘を、お弓は、悲しみをこらえて立ち去らせたが、諦め切れず、後を追います。やがて、十郎兵衛が、何も知らずに子供を迎え帰る、財布にあるという大金を見せると強要。恐がって大声を出す子の口を押さえたところ、子供は息絶えてしまいました。夫と一緒に娘を探そうと戻ったお弓の言葉から、我が子を殺したと知り、愕然とする十郎兵衛。娘の死に慟哭する母。そこへ捕手が…。夫婦は、娘の亡骸を人手に渡すまいと火を放ち、逃げるのでした。



日時：平成20年9月28日(日) 午後2時／午後6時開演
※それぞれ開場は開演の30分前

会場：イムズホール(福岡市中央区天神1-7-11 イムズ9F)

●入場料(全席指定 ※大学生以下要証明)

[前売]一般 2,500円・学生 1,500円 [当日]一般 3,000円・学生 2,000円

●チケット取扱

◎チケットぴあ TEL 0570-02-9999[Pコード 387-878]

◎メガチケットアートリエ TEL 092-281-0103

主催：福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡文化財団

助成：福岡地域創造 協力：福岡楽協会・キャナルシティ博多

お問合せ：福岡市文化芸術振興財団 TEL 092-263-6265

関連企画

福岡市 日本の古典芸能鑑賞講座
「文楽いろはレクチャー」

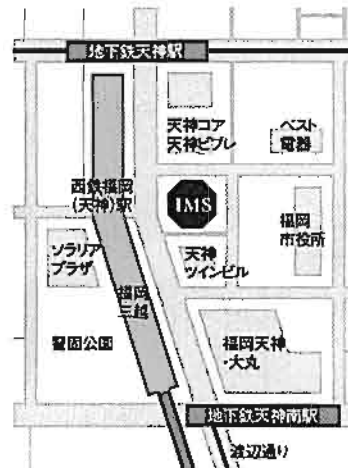
宵空の下で人形浄瑠璃「文楽」をご覧になりませんか。
また人形遣いの体験もできます。ぜひお越し下さい。

9月27日(土) 午後3時／午後6時 ※雨天中止

会場：キャナルシティ博多B1Fサンプラザステージ

出演：豊竹 睦大夫／野澤 喜一郎／吉田 幸助

入場
無料



出演者



竹本 津駒大夫



竹本 文字久大夫



豊竹 睦大夫



鶴澤 清友



鶴澤 清二郎



野澤 喜一郎



吉田 和生



吉田 清三郎



吉田 幸助



吉田 玉翔